## 令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)事業について

						事業費(円)	交付金(円)	重要業績評価指標(KPI)		令和6年度実績と評価				総合戦略推進会議の検証		市議会の検証		
番号	事業(	事業の名称	担当課	事業の目的・概要	事業の内容・規模	上段:申請額下段:実績額	上段:申請額下段:実績額	指標項目	目標値単年増加数	県全体の実 績	前年度数値 (市)	達成値単年 増加数(市)	左記の理由	市評価	評価	意見	意見	
								県外から本県へのUI ターン者数 【県下市町合算】	3,000人 開始前 1,479人	▲77人	147人	121人	対前年比:▲26人			C —		
	地方回 業構造 を捉えが	]帰と産 言の変化 た大規 け還流プ		めの支援体制の充実 3. 地域の特徴を活かした周遊型 ワーケーション誘致の体制整備	1.「ながさき移住サポートセンター」等による就職支援の強化 (1)ながさき移住サポートセンター負担金 915 千円 2. 農山漁村へのUIターン促進集落における稼ぐ仕組づくりと多様な人材の育成 40.521千円 ・交付対象:市(ながさき漁業伝習所支所※構成:市町、漁協、漁業者)が実施する漁村集落における移住者等を対象とした半漁半X等の多様な働き方に	41,360,000	20,720,000	第1次産業新規就業者数(農林水産業)[県下市町合算]	851人 開始前 742人	747人	34人	35人	対前年比: +1人	対前年比: +1 人 一 対馬市の 登録実績なし	•			
1	ロジェク 【共同年【継続事	申請】	水産課	ながさきSociety5.0の推進による地域課題の解決 上記施策を一体的に行うことで都市部からの地方回帰への流れを				「ながさき移住倶楽 部」会員登録者数 【県下市町合算】	1,800人 開始前 2,393人	2,412人	ı	ı			C		_	
			<b>小座</b>			44,306,230 <b>うち対象外経</b> <b>20,116千円</b>		持続可能な地域づくり に取り組む地域【団 体】数 【県下市町合算】	29団体 開始前 88団体	22団体	0団体	0団体						
			なが、出①信果でいる。 おおり はい で まま かんしょう はい まま で ま	(1) 長崎のファンづくりと、長崎県とつながるきっかけづくり、交流機会の創出 ①長崎ファンの獲得のための情報発信・・県が、市町が発信したい情報等につ	これまでの、対馬の歴史と文化、特に「万葉集」の中で対馬を舞台に記述されている「万葉の和琴」に着目し、「旅人の琴」プロジェクトとして、和琴の復元などに取り組んできた。今後は活動をさらに発展させ「万葉の和琴」の演奏会などを実施し、市内外への普及啓発に取り組み文化芸術活動の活性化や地域ブランディングの構築につなげる。・地域実行委員会への補助金 1,000千円	1,000,000	500,000	新たに関わりを持った ① 地域外人数 ※共同申請市町合算	7,000人 開始前 一	57,985人	8人	13人	対前年比: +5			_		
2	ながさる 関わり記 ロジェク 【共同申 【継続事	創出プ クト 申請】		いて助言を行うほか、市町向けに広報業務に係る研修会等を実施することで市町の情報発信力の向上を図るとともに、県が市町から地域の情報を吸い上げる仕組みを構築し、県と市町が協力して効果的なパブリシティ活動を実				継続的に長崎県内の 地域活動への情報提 供を受けとる人数 ※共同申請市町合算	48,000人 開始前 一	6,635人	_	-	対馬市の 登録実績なし	В	В		-	
						500,000	250,000	マッチングによりワケーションを実施する企業数 ※共同申請市町合算	3企業 開始前 一	10企業	0企業	0企業						
				の、 産品の 供給体制や一定の供給 ロットを確保するととも、 マーケー ティングの 実施や 販路拡大に取り	◆生産力向上(HACCP講習会への参加、専門家を招いての 社員研修)、 ・商品力強化(ふるさと納税産品の追加)		11 500 000	しまの地域商社の販 売増加額 ※4離島合算	30,010千円 開始前 425,000千 円	▲8, 577千円	▲1, 675千円	108,998千円	主要原料の漁獲量 激減により、主要 商品の売上げが伸 び悩んだ。					
3	産·販売 大支援	の産品生 販売力拡 技援事業 司事業] 続事業]	水産課	水産課・明た	たに以下の取組みを行っていく。	・販路開拓・拡大(営業等強化推進事業、ネット・SNS・サイト等による情報発信事業、バイヤー招聘、百貨店(デパート)等へ商品常設・フェア出店)  ●商品力強化(簡易レトルト殺菌機の導入) 1.500千円	23,000,000	11,500,000	地域商社等の支援に より開発した新商品 数 ※4離島合算	16商品 開始前	26商品	0商品		新商品の開発には 至らなかった。	D	D	_	-
				るノロダクトアワトからマーケットイ   ンへの転換	●未利用魚等流通促進支援 12.000千円 ・島内流通促進支援、商品開発・販売促進支援 等	20,023,000 うち対象外経 4,290,095円		地域商社等の支援に より販売額が前年比 120%を超えた事業者 数 ※4離島合算	8事業者開始前一	8事業者	0事業者	0事業者	原材料不足により 既存顧客に対する 取引にとどまった。					

称	担当課		古光の中央 担構			を付金(円) 重要業績評価指標(KPI)		令和6年	総合戦略推進会議の検証			市議会の検証		
	担当課	事業の目的・概要	事業の内容・規模	上段:申請額下段:実績額	上段:申請額下段:実績額		指標項目	目標値単年 増加数	実績値	左記の理由	市評価	評価	意見	意見
		り、朝鮮半島との交易・交流の歴 史文化に加え、固有種等の独自 の生態系を有しており、多くの観光 客が、自然、史跡、景観を目的に 訪れている。一方で、気軽に訪れ	の中間に位置してお 島との交易・交流の歴 記え、固有種等の独自 有しており、多くの観光 、史が、景気を目的に う点では、ないたは、 の点では、カンセで、あっては、 っ一だは、加え、イメージがはの ったとにかえ、コンセで、ありらに であったが、コンとで、あっては こしかない観みーでみの の自然を行う力とで、あっては こしかない観ターアの魅力をは こしかなななターであるでは、一次方となって、 での形にであるであるイアウトドアをあるイアウトドアをメイトとの 情核となる下あとそうべとし アウトドアメー馬の他を表 アウトド対川にあた他を最かいにして対馬のでしている他をを は内にて対馬のでとしまかいとしまかに とは、発生にを提供することの向なで当またるには とは、発生にを提供する できまた。または、 できまた。 では、このでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		25,843,000	1	観光客実数	20,000人 前年数值 243,259人	303,546人	インパウンドの回 <b>復等による増</b> 対前年比: +60, 287人				
:る		ンデがあることに加え、他の離島との差別化やブランドイメージが確立できていないため、対馬の強みである固有の自然をコンセプトとした観光地整備を行うことで、ありなない、対馬にしかない観光コンテンツの創出及び的確なターゲティ				2	利用者数(キャンプ 施設)	240人 前年数値 1,600人	1,358人	例年の水準で推移 (コロナ前の水準) 対前年比:▲242人		0	_	_
ト 請】	问上酥	る。本事業の核となる「あそうべイイー」は、アウトドアをメインとして、玄海ツツジ及び対州馬等のめ、自然をキーとして対馬の価値を最大化した「対馬発・国境アウトせるかとして、満足度の向上に配料付く豊かな時間や知とする。またアウトドランド等との連携による情報発信及びプロモーションを展開していく				3	商品開発数	3個 前年数値 5個	0商品	今年度の開発は O個 対前年比:▲5個				
					24,761,000	4	利用者数(キャンプ 施設以外)	0人 前年数値 14, 728 人	18,907人	遊具等の整備により、 ファミリー層の利用者 が増加した。 対前年比: +4, 179人				
		む中、離島である対馬市においては、1960年の69,556人をピークとして、2010年には34,407人、直近の2020年には28,502人となり、2045年にはさらに半数となる14,000人程度まで減少することが推計されている。また、少子高齢化も進行しており、本市の人口に対する15歳未満の人口と65歳以上の人口の割合は、1960年の15歳未満14.1%・65歳以上29.5%とかり、15歳未満が65歳以上の約1/2と少り、15歳未満が65歳以上の約1/2と少なくなっている。このような対馬市の現特統可能な島づくりを推進するために、生活習慣の一部としてスポーツに	は、		2 212 000	1		10% 前年数値 6%	6%	イベント等開催のみによる 利用者の増(+10%)については成果があったが、年間を通しての利用者数は 昨年度と変化がなかった。 利用件数自体は増えてる ので、1団体あたりの利用 人数が減ってきていると考				
間 )連 ジエ g	政策企画課 生涯学習課							10% 前年数値 16%	17%	設において半年間、雨漏修 繕等の工事を行っており、 全体利用者数を伸ばせな かった一つの要因と考えられる。 ①対前年比:±0%		С	_	_
		ばし生涯現役で過ごせる島づくりの推進を目指す。 また、市民がライフステージや目的に応じたスポーツを選択でき、スポーツに親しみやすい島づくりを推進すできるスポーツに焦点を当てながら、島の特性に応じた多様なスポーツの活動の	・スポーツ普及啓発イベントの企画運営に係る費用 1,570千円	6,110,924	3,055,000		島内中学校卒業生 の島内高校への進 学率	4% 前年数値 71.5%	70.04%	競技力、事業・指導者の認知度は向上しているものの、スポーツ強豪校及び将来の就職を見据えた専門的な学びのための島外高校への進学により、島内高校への進学率向上につながらなかった。				
	力る大ト・請り、一切問連を対し、請り、一切問連を対し、請り、	力る大ト・請り	本、大・ は、 年 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	本土と大陸の中間に位置しており、 り、朝鮮半島との交易・交流の歴史文化に加え、個の報島の生態系を有しており、多くの観光を多い。自然・皮跡、景観を目的に訪れている。一方で、気軽に訪れる場所という意では、地理の自然をつせずたとした観光地整備を行うことで、ありみたアウトドアの魅力化のみではない、対馬にしかない観光コンテングの動したのかではない、対馬にしかない観光コンテンツの創出及び的確なラーゲーク・ングによる情報発信が必要である。本事来の後となる「あそうペイン」に、フッドアをメインとして、玄海ツツシ及び対州馬等の西角種を施設内に有しているため、自然をキーとして対馬の価値を影響がある。自然をキーとして対馬の価値を影響がある。とは、元泉原の向上に組代をからせることで、流足の向上に組代と参加な時間や知的な学習を提供する。 大化した「対馬の価値を影響を開していて、正原の向上に組代を助かな時間や知的な学習を提供する。 発信基地とする。またアウドアブランド等との連携による情報発信及びプロモーションを展開していて、ことにより、対馬の価値を影響を指し、交流人口の拡大及び地域振興を促進する。 またアウドアブランド等との連携による情報発信及びプロモーションを展開していて、ことにより、対馬の価値を影響を指し、交流人の加太及び地域振興を促進する。 またアウドドアブランド等との連携による情報発信及びプロモーションを展開していて、ことにより、対馬の価値を影響を発信及びプロモーションを展開していて、ことにより、対馬の価値を影響を発信を表して、活度の向上にはなる。 発信基地とする。またアウドアブランド等との連携による情報発信及びプロモーションを展開していて、ことにより、対馬の価値を影響を発信を担当する。 また、少子高齢化も進行におり、本体のの人程度で表して、流度の向上にはおり、大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大	本土と大陸の中間に位置しており、朝鮮半島との交易・交流の歴史文化に加え、固有性等の独自の生態系を有しており、多への親先を対しており、テカで、気軽に助から場所という点では、地理的なハンデがあることに加え、他の強島との差別化やブランドイメージが確立できていないとめ、対馬の治の流行である。	本土と大阪の中間に位置しており、 ・	本上と大陸の中間に位置しており、リ朝鮮半島との交易・交流の歴史 文化に加え、国有種等の独自の生態系を有しており、多くの観光を高いており、多くの観光を高いており、多くの観光を高いており、多くの観光を高いており、多くの観光を高いており、多くの観光を高いという点では、地理的なハンデがあることにから、列馬の強みである国有の自然をコンセプトとし、大たアグトドアの影力にのみでは、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、	** 本土と大徳の中間に位属しており、別報半島との多と交流の歴史・文化に加え、固有精等の自自の生態系を有しており、多くの形式、受別、重然、受別、素が、自然、受別、素が、自然、受別、素が、自然、受別、素が、自然、受別、素が、自然、受別、素が、自然、受別、素が、自然、受別、素が、自然、受別、素が、自然、受別、素が、自然、受別、表が、自然、大きの事的のように、利力にないたが、別名の済みである固有の自然を含まつとサートにした。現土の登録とした。	# 土土大阪の中間に位置しており、野鮮半長ので見い、英郎、日本原理等の独自の生態を育しており、野鮮半長ので見い、多くの観光 下が、自然、皮部、炭酸と同じ、100円の 100円の	#### # # # # # # # # # # # # # # # # #	************************************	本土大学の中部には他にできた。	# 本土土 大部の中間には使いてき ・ 「職業中温 20 32 元 文章の 20 30 3 30 3,546 人 ・ 「職業中温 20 32 元 文章の 20 30 3 30 3,546 人 ・ 「職業中温 20 32 元 文章の 20 30 3 30 3,546 人 対策をしていないたり、その日本 さんでもいうかでは、は他的かい ・ 「ただが、中間の自動やシンプライン・スーラーでは、10 30 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2	*** 本土土 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2

	対馬は自然・歴史・文化まで国境の島ならではの特徴を持つため、物見遊山的な団体観光を除くと旅行先に対象・歴史・文化を目的とした来島者が多くなっている。 一方で対馬の歴史的な事件「元寇」を舞台とした漫画『アンゴルモ			地域に置ける観光消費額	20,000千 円 前年数値 7,298,723 千円		インバウンドの回 <b>復等による増</b> ①対前年比: +2,498,557千円				
デジタル素材 を活用した島 の観光物産の 魅力発信事業	ア元寇合戦記』やゲーム『Ghost of Tsushima』のほか、2023年9月から配信されているNETFLIXのアニメ「GAMERA REBIRTH」などの所謂「聖地巡礼」を目的とした来島観光交流 ち今後見込まれている。また、そのほかにもSDGsをテーマとする漂		54,502,000 27,251,000 (2	観光客実数	500人 前年数値 243,259人	303,546人	②対前年比: +60, 287人	С —			
[市単独申請]	□ TANA □ 問題解決型の旅行も近年増加し □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	●AR・VRを使用した観光コンテンプの追放 ●デジタル手法を活用した新たな観光物産展の開 催		ガイドマップのアク セス数	500回 開始前 0件	OAH	令和6年度中にデジタルマップを制作し、令和7年4月1日から運用を開始したため、開始前後で指標に変化がなかったため。	0		_	
【継続事業】	りによる持続可能な観光へのシフトを方針に定めていることから本事業において、①既存の尖った観光コンテンツの発信、②上記マンガ・アニメの活用等を中心とした新たな尖った観光コンテンツづくりを行い観光業を盤石な産業とする。	·フ       観   ン   新   を	49,854,900 24,925,000 4	AR・VRコンテンツ の視聴回数	200回 開始前 O回	72回	令和6年度に制作した VRコンテンツを、お城 EXPO(12月横浜市)、観 光物産展(2月豊中市) にて試行し、使用感等を 反映した修正等を行っ た。	、お城 兵市)、観 豊中市) 用感等を			

## 【拠点整備タイプ】

章	± ** /	*************************************		*******	事業費(円)	交付金(円)	重要業績評価指標	(KPI)	令和6年度実績と評価				は略推進会議の検証	市議会の検証	
Ę	事業0	事業の名称 担当課	担当課	事業の目的・概要	事業の内容・規模	上段:申請額下段:実績額	上段:申請額 下段:実績額	指標項目	目標値単年 増加数	実績値	左記の理由	市評価	評価	意見	意見
					●あそうベイパーク学びのキャンパス ・建物本体建築工事、電気設備工事、機械設備工事	locate in the second se	① 127,947,000 ② ③	地域に置ける観光 消費額	O円 前年数値 7,298,723 千円	9,197,280千円	インパウンドの回 復等による増 ①対前年比: +1,898,557千円				
	国境で: 光拠点! 備事業	- ナナーニの。ホケ		「国境の島 対馬」に紐付くあらゆる"ここにしかない"資源を活用した学びの観光拠点を整備しSIT(スペシャル・インタレスト・ツアー)による持続可能な観光と観光消費額の拡大を図ることに加えサーキュ				観光客実数	O人 前年数値 243,259人	303,546人	②対前年比: +60, 287人	D	D		
	【市単独 【継続·	独申請]		ラーエコノミーの実現に向けた発信拠点として【マイナスの資源(海洋プラゴミ)を富に】転換していく取組みを推進する。				利用客数 (キャンプ施設)	0件 前年数値 1, 600人	1,358人	例年の水準で推移 (コロナ前の水準) 対前年比:▲242人				
							127,947,000 4	対州馬曳き馬体験 者数	0件 開始前 0人	0人	未実施				